

ニカラグア経済定期報告(2012年3月・4月)

2012年5月

在ニカラグア日本国大使館

1. 3月の動向

(1)3月10日、米州開発銀行(IDB)の発表によれば、2011年にニカラグアが受け取った家族送金額は1,053百万ドルで、同年の輸出総額の50%に値した。

(2)3月11日、政府の報告によれば、当国のガソリン価格は11週間連続で上昇しており、中米地域で最も高額を記録した(ハイオク:1リットル約1.4米ドル、レギュラー:1リットル約1.3米ドル、ディーゼル:1リットル約1.2米ドル)。

(3)3月14日、10月に開催予定のベネズエラ大統領選挙に立候補するカプリレス候補は、自身が当選した場合の対ニカラグア経済援助は二国間(国対国)援助になるだろうと述べ、現行のALBAグループを介した援助(国対民間企業)の継続を暗に否定した。

(4)3月15日、労働者の最低賃金設定を行う国家委員会は、政労使三者間の合意に達し、農産分野では年率13%、その他の分野では同12.5%の最低賃金の引き上げを定めた。

(5)3月18日、ワルマロ・グティエレスFSLN議員(生産、経済、予算委員長)は、ニカラグアの対ベネズエラ債務が現状では民間債務であると述べつつも、将来的には状況次第で公的債務にもなり得ると述べた。

2. 4月の動向

(1)4月1日、ニカラグア中央銀行が発表した2011年の経済協力白書によれば、2008年～2011年の間に、ALBAの枠組みにおいてニカラグアがベネズエラより受け取った支援額は、2,046.1百万ドルであった。なお、内1,423.4百万ドルは石油分野での援助であった。

(2)4月4日、ニカラグア中央銀行より、3月末におけるニカラグアの外貨準備総額(RIB)は、過去最高額の1,938.2百万ドルを記録したことが公表された。

(3)4月14日、ニカラグア中央銀行の報告によれば、フリーゾーン内の労働者数は10万人を超え、過去最高となった。

(4)4月16日、カラソ県ディリアンバ市において、当国初となる太陽光エネルギーのプラント建設が日本の援助により開始した。完成すれば、中米地域で最大のプラントとなる見込み。

(5)4月21日、PRONICARAGUA(ニカラグア投資振興機構)は、世界銀行や国際金融公社等がカタールで開催した世界投資フォーラムにおいて、最優秀投資推進公社賞を受賞した。

(6)4月26日、マナグアにて、中米及びドミニカ共和国の警察機関と民間企業連盟の代表らが中米地域の安全対策に関する会合を持ち、犯罪削減のために民間企業として20万人の若者を雇用すること等について合意した。

(7)4月27日、ベネズエラによる石油支援及びそれに付随する一切のビジネスを取り仕切る

ニカラグア ALBA 株式会社 (ALBANISA) のフランシスコ・ロペス副社長は、ALBANISA が中国のインフラ・通信・エネルギー関連会社である CAMC エンジニアリング (CAMCE) と石油精製所建設プロジェクト「ボリバルの至高の夢 (“El Supremo Sueño de Bolívar”）」への投資に関し覚書を締結した旨表明した。

(了)